

令和7年度 第2学年 数学 年間指導計画・評価規準

月	指導内容		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4月 5月	式の計算	式の計算 文字式の利用	簡単な多項式の加法、減法の計算ができる。 多項式と数の乗法、除法の計算や式を簡単にしてから式の値を求めることができる。 単項式どうしの乗法、除法の計算や乗除の混じった計算ができる。 数量の関係を文字式に表したり、目的に応じて等式を変形したりすることができる。	多項式の加法、減法や多項式と数の計算について、同類項をまとめる計算を基礎として、その計算のしかたを考えることができる。 単項式どうしの乗法、除法について、分配法則を基礎として、その計算のしかたを考えることができる。 数量の関係や数の性質を予想し、文字式を使って考え、説明することができる。	同類項をまとめる計算を基礎として、多項式の加減の計算に取り組もうとしている。 分配法則を基礎として、多項式と数の乗法、除法の計算に取り組もうとしている。 単項式どうしの乗法、除法の計算に取り組もうとしている。 数量の関係や数の性質を、文字式を使って明らかにしていこうとしている。
6月 7月	連立方程式	連立方程式 連立方程式の利用	値の組を連立方程式に代入して、連立方程式の解があるかどうかを確認することができる。 加減法や代入法によって、連立方程式を解くことができる。 問題の中の数量の関係を連立方程式に表し、それを利用して簡単な問題を解決することができる。	菓子の数あての課題で、連立方程式を考え、その解の意味を考えることができる。 加減法や代入法の共通点や相違点を考えることができる。 連立方程式を利用して問題を解決し、その過程を振り返って考えることができる。	連立方程式の解について、理解しようとしている。 加減法や代入法によって、連立方程式を解こうとしている。 連立方程式を利用して、問題を解決しようとしている。
8月 9月 10月	一次関数	一次関数とグラフ 一次関数と方程式 一次関数の利用	一次関数の関係を式に表すことができる。 一次関数の変化の割合を求めることができる。 一次関数のグラフをかきことができる。 一次関数の式を求めることができる。 二元一次方程式のグラフをかきことができる。 2直線の交点の座標を、連立方程式を使って求めることができる。 身のまわりの事象を、一次関数の考え方をういて表現したり、処理したりすることができる。	比例の関係は、一次関数の特別な場合であるとみることができ、比例も一次関数も関数であるとみなすことができる。 一次関数 $y=ax+b$ で、変化の割合と a の関係について考えることができる。 一次関数のグラフの特徴を、比例のグラフをもとに考えることができる。 一次関数のグラフで、傾きや切片、通る点などをもとに、その式を求める方法を考えることができる。 二元一次方程式を y について解き、一次関数とみること、そのグラフの特徴を考えることができる。 連立方程式の解は、2直線の交点の座標になっているとみることができる。	身のまわりの事象の中から、関数や一次関数とみられるものを見つけようとしている。 一次関数の変化の割合を求めようとしている。 一次関数をグラフに表そうとし、グラフの特徴を明らかにしようとしている。 与えられた条件から、一次関数の式を求めようとしている。 二元一次方程式のグラフをかこうとしている。 連立方程式の解とそのグラフの交点の関係に関心を持ち、連立方程式を解いて、交点の座標を求めようとしている。 身のまわりの問題を一次関数を使って解決しようとしている。

令和7年度 第2学年 数学 年間指導計画・評価規準

月	指導内容	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
11月 12月	図形の調べ方 平行と合同証明	対頂角、同位角、錯角の大きさを求めることができる。 三角形の内角や外角、多角形の内角の和・外角の和などを求めることができる。 簡単な場合について、三角形の合同条件を用いて合同な三角形の組に分けることができる。 仮定や結論などを記号を用いて表すことができる。 図形の辺や角の関係をなどを、記号を用いて表すことができる。	「対頂角は等しい」などのことがらを、帰納的な推論や類推を用いて予想することができる。 多角形の内角の和、外角の和を帰納的に考えることができる。 2つの三角形が合同かどうかを、合同条件を用いて考えることができる。 すでに正しいことがらを根拠にして、仮定から結論を導く証明のすじ道を考えることができる。 三角形の合同条件を使って証明する手順を考えることができる。	「対頂角は等しい」など、直観的に分かることがらを、筋道を立てて説明しようとしている。 多角形の内角の和や外角の和などを求めようとしている。 2つの三角形がどんな場合に合同になるかを考えようとしている。 仮定から結論を導く証明のすじ道に関心をもち、証明のすじ道を調べようとしている。 三角形の合同条件を使って、簡単な図形の性質を証明しようとしている。
12月 1月 2月	図形の性質と証明 三角形 四角形	二等辺三角形の性質やその逆などを記号を用いて表すことができる。 簡単な場合について、直角三角形の合同条件を使って合同な三角形の組に分けることができる。 平行四辺形の定義や性質を、記号を用いて表したり、辺の長さや角の大きさを求めたりすることができる。 平行四辺形になる条件を、記号を用いて表すことができる。 長方形、ひし形、正方形の定義やその性質などを記号を用いて表すことができる。 平行線と面積の関係をj用いて、面積が等しい三角形を見付けることができる。	二等辺三角形の性質を調べ、その証明について考えることができる。 三角形の合同条件をもとにして、直角三角形の合同条件を導き、それを使った図形の性質の証明を考えることができる。 平行四辺形の性質について考えることができる。 平行四辺形になる条件を平行四辺形の性質の逆として考えることができる。 長方形、ひし形、正方形が平行四辺形の特別なものであるとみることができる。 平行線と面積の関係について考えることができる。	観察、操作などを通して、二等辺三角形の性質を見いだそうとしている。 直角三角形の合同条件を使って証明しようとしている。 平行四辺形の性質を見付けようしたり、それを証明したりしようとしている。 四角形の辺や角などがどのような条件になれば平行四辺形になるか考え、証明しようとしている。 長方形、ひし形、正方形はが平行四辺形の性質をもつことに関心をもち、それぞれの性質をまとめようとしている。 ある図形と面積が等しい図形をかこうとしている。
2月 3月	場合の数と確率 場合の数と確立	実験や調査結果の考察がしやすいように、図や表、グラフに表すことができる。 簡単な事象について、樹形図や表などを用いて、確率を求めることができる。	実験や調査結果をもとに、不確定な事象の起こりやすさの傾向について考えることができる。 同様に確からしいことがいえれば、実験をしなくても場合の数の割合として確率が求められることに気付くことができる。	確率に関心をもち、実験等を通してある事象の起こりやすさを予想しようとしている。 簡単な場合について、起こりうる場合を順序よく整理し、その確率を求めようとしている。
3月	箱ひげ図とデータの活用 箱ひげ図とデータの活用	日常の事象を題材とした問題などを取り上げ、それを解決するために、必要なデータを集集し、コンピュータなどを利用して、データを整理し、四分範囲を求めたり、箱ひげ図で表したりすることができる。	四分位範囲や箱ひげ図を用いて、複数の集団のデータの分布の傾向を比較して読み取り、批判的に考察したり、判断したことを説明したりすることができる。	多様男データや統計的な表現を用いて、多面的に吟味することで、批判的に考察することの必要性を考えようとしている。